

p59

ソ聯國民所得

國民資力研究所



第六篇

第一章

露西亞統計の批判

一、本資料ハ昭和十五年六月農林大臣官房統計課發行ニカカルコリー
 ・クラアク原著「露西亞統計の批判」ハ統計課員今藤雄譯・農林統
 計調査資料第八號ノ要領ヲ纏メタモノデアル。當該書ハソグ新工
 ツト聯邦ノ國民所得ニツイテ理論的・体系的ニ論ジタモノデハナク、
 寧ロ其ノ目的ハ「近代ロシアノ經濟的發達ヲ批判的ニ統計ヲ利用シテ
 テ示ストイフ點ニアル。サレバ、單ニ國民所得ニ限ルコトナク、諸
 タノ政策、社會情勢、例ヘバ「ロシア農村ノ潜在的大失業軍、五ヶ
 年計畫以後ノ工業化政策、債銀・物價政策等々ガ有機的ニ」述ベラ
 レ、「ロシアノ蓄積資本」國民生活程度、外國資本ニ對シテ現下ノ事情ノ
 ニヨク描キ出サレ、國民生活程度、外國資本ニ對シテ現下ノ事情ノ
 下ニロシアガ執リ得ル政策ヲ指示シテキル。」
 斯ル意味カラ云ヘバ、國民所得ヲ論ズル著作トシテハ物足ラナイデ

28

アテウ。併シ。ココニ敢ヘテ資料ノ一トナス所以ハ一ハタダ今ノト
 コロ仲々適當ナル資料ナキタ。一ハコーリソン。クラアクガ英語ニ
 於テ統計學界ニ於テ命名アルノミデナク。國民所得論ニツイテモ權
 威ヲ以テ目サレルガタメニ外ナラヌ。

原農林省資料ヲ本資料ニ編ムルニ當ツテハ。國民所得ニ直接關係ナ
 キ部分ハ掲載シナイコトトシ。ソノ他ノ箇所ニツイテモ單別ニツイ
 テモ可成リノ壓縮・潤色ヲ加ヘタ。

二、尙ホココニ注意スベキコトハ、ソ聯國民所得ノ研究方法ハ今マデノ
 人的乃至物的方法ノ何レトモ裁別出來ナイヤウナ、一種獨特ノモノ
 デアルコトデアリ、(原著者ハクカアクナルモ、同教授ハソ聯ノイ
 クタノ學者・研究所ノ統計・著述ヲ引用シテキルガタメ、オノヅカ
 ラソ聯ノ獨特ナ方法ガアラハレテキルノデアアル。ソノ上、著者
 ノ方法論ト引用スル總多ノ著者ノソレト並立シ理解ニ困難ナ點ガ可
 成リアル。カクシテ總ベテハ將來ノ研究ニマタナケレバナラナイガ、
 ココニソノ方法ヲ敢ヘテ一言ニシテ云ヘバ、主トシテ生産物・賃銀

及消費ヲ勘案シテ算出シテキルモノノゴトクデアル。

(引用文ハ農林省資料ノ農林大臣官房統計課長近藤康男氏ノ序言ニ依ル。)

第一節 總 說

一、本書ノ目的ハロシア統計ノ内容ノ統一性ヲ吟味シ、カツ諸國ノ統計ト比較スルコトニ依ツテ該統計ヲ檢討スルニアル。調査ニ際シテハ最近五十年間ニ於ケルロシアノ一人當實收入ノ變動ヲ主トシテ分析スルコトトシタ。而シテ基本的方法トシテハ最近ニ於ケルロシアノ商品ト勞務(サーヴィス)ヲ決定シ、コレヲ商品及勞務ヲ基準年度(一九三四年)ニ於ケル英國ノコレヲ商品及勞務ノ市價ヲ用ヒテ表示スル方法ヲトツタ。

二、經濟的進歩ノ確實カツ完全ナ唯一ノ尺牘ハ國民所得ニ關スル數字デアル。國民所得ノ定義ヲ下シテミルト、一ケ年間ニ生産サレカツ消費又ハ投資サレ得ル商品及勞務ノ價額デアル。ソ聯邦ニ於ケル如キ

計量經濟ニ於イテハ國民所得ノ概念ハ必ズシモ同國ニ於ケル同種ノ
 概念トハ同一デハナイ。蓋シソレハソ聯邦デハ特定ノ商品及勞務ガ
 不自然ナ低價格ニ依リ提供サレテナリ。ソノ反面ニハ不自然ナ高價
 格ヲ以テ提供サレテキルモノガアル關係上カク獨斷的ニ決定サレタ
 價格ニ依ツテ一切ノ商品及勞務ノ生産價額ヲ計上スルコトハ國民所
 得ノ測定トハ到底似ツカヌ結果ヲ生ズルカラデアアル。ダカラ、ロシ
 アノ國民所得ヲ正確ニ測定スルニハ計量經濟ノ實施前ノ年ニ於ケル
 價格乃至ハ特定國ニ於ケル價格ニ基イテロシアニ於ケル商品及勞務
 ヲ計算スル方法ヲ用キザルヲ得ナイノデアアル。而シテ前者ノ方法ヲ
 ソ聯邦ハ用キタ。

第二節 一九一三年度國民所得ノ分析

一、ソ聯現在領土ノ一九一三年度國民所得ハ一三、八九六百萬ルーブルト
 推計シテキル。然ルニゴスフラン（國家經濟企畫委員會）ノ數字ハ
 一四〇ニ六百萬ルーブルデアツテ、コノ二種數字ノ平均ヲトレバ百

91

四十億ルーブルト見積ラレル。トコロガ現在ニ於テ一般ニ通用スル
 国民所得ノ定義ニ以上ノ数字ヲ一致セシメルタメニハ上掲ノ数字ニ含
 マレナカッタ國家勤勞所得額トシテ十五億ルーブルヲ加算シナケレ
 バナチナイカラ、其ノ結果百五十五億ルーブルニ達スル所得額ガ得
 ラレル。此ノ推計ニ際シテ用キラレタ定義ハ多少限定サレタモノデ
 アリ、運輸業、卸賣小賣ノ配給業務、郵便事務ガ包含サレテキルガ
 ヲノ反面ニハ家屋賃賃料、官營事業ハ本言ガハ含メテキルカ、ノミ
 ナラズ、専門業、醫業、家事務。用達、理髮業、戯者業等ノヤウ
 ナ多少参酌ノ必要アル個人的勞務ハ除カレテキル。カクシテ一九一
 三年度ノロシアニ於ケル一人當國民所得額ハ同年ノ爲替相場ニ依レ
 バ一・二・五磅ニ達シタ。参考ノタメ英國ニ於ケル一人當所得額ヲミ
 ルト五・二磅デアル。尤トモコノ二ツノ数字ヲ直接比較シテハナラズ
 ト云フノハ一九一三年ニハイカニ經濟事情ガ無事平穩デアツタトシ
 テモ、英國ノ磅トロシアノソレニ相當スル金重量トガ同一ノ購買力

92

小麦トライ麥 パントシテ表示ス	一九三三	一九三七	一九三三	一九三三	一九三三	一九三三	一九三三
	二五二・五	一四四・〇	一五〇・〇	六一・〇	一九・〇	一七・九	一八・七
砂糖	九・〇	八・三	八・〇	一七・八	一・四	一・三	一・二
	二七・〇	二七・〇	二七・〇	二七・〇	二七・〇	二七・〇	二七・〇
	一九三三	一九三七	一九三三	一九三三	一九三三	一九三三	一九三三
	二五二・五	一四四・〇	一五〇・〇	六一・〇	一九・〇	一七・九	一八・七
	九・〇	八・三	八・〇	一七・八	一・四	一・三	一・二
	二七・〇	二七・〇	二七・〇	二七・〇	二七・〇	二七・〇	二七・〇

チモツテキタトハ云ヘナイカラデアル。トコロデココニニツノ操作
 ガ必要トナル。一ハ商品ノ課税サレナイ價格ヲ計算シテ物価指數ヲ
 作製スルコト。二ハ一切ノ間接税(南税・營業收益税等)ノ徵收額
 ヲ加算スルコトデアアル。一九一三年ニ於テ斯ル操作ヲ用キテ結果ハ
 二十億ルーブルトナリ商品及勞務ニ對スル課税價格ニ基ク支出額ハ
 百八十三億ルーブルニ達スルノデアアル。
 ニココニ參考資料トシテ次ノ表ヲ掲ゲヨウ。コレハ英露兩國々民所得
 ノ比較ニ便宜デアラウカラ。

表一 週當一人當消費高(オンス)

一九三三年度英國小賣物價ニ依ル
 價格(オンス)

93

馬鈴薯	アマニ油トヒ	肉類ト脂肪	牛乳ト乳製品 牛乳トシテ表ス	卵 (個數)	計
八〇・〇	二・七	一六・八	一一・五	〇・九	八〇・〇
八〇・〇	二・七	一八・六	一二・〇	一・二	八〇・〇
八〇・〇	二・七	六・九	七六・〇	〇・五	六四・〇
六四・〇	一	四四・三	二五四・〇	二・五	一三・七
一三・七	〇・二	一一・〇	七・七	一・三	三・七
三・七	〇・二	一一・三	八・八	一・六	三・七
三・七	〇・二	四・五	五・二	〇・七	三・七
三・〇	一	二九・一	一七・四	四・三	六四・一

(三五・ニオンスハーキロ、ニ〇ヘンスハー磅トス)

此ノ表ニ除外サレタ食糧分ヲ加ヘレバ、一九一三年ニ於ケル露國民ノ食糧ハ平均シテ現在ノ英國ノ相當一人當約四九・六ヘンスニ相當スルモノト推計サレル。

三、尙ホ前記百八十三億ルーブルハ、農産物輸出額等ヲ考慮スレバ、食糧ニ振向ケラレシ分ハ七十一億ルーブル、食糧以外ノ商品及勞働ニ振向ケラレシ分ハ百十一億ルーブルト推定サレル。

94

四 トコロデ、食糧以外ノ商品ニツイテハ一九一三年ノ一五・七五ル
 プルハ同年ノ一磅ト同一ノ購買力ヲ持ツテキルガ、英國ノ食糧以外
 ノ小賣物價指數ハ一九一四年カラ一九三四年ノ間ニ七〇%高騰シタ
 ダカラ一九一三年ノ九・二七ルイブルハ一九三四年ノ一磅ト同一ノ
 購買力ヲ持ツテキルトイヘヨウ。ツマリ一人當平均所得額ハ一九三
 四年ノ物價デアラハストニ一磅トナル。他方同年ノ英國ニ於ケル一
 人當國民所得額ヲ同一方法・同一單位デ計算スルト八八・五磅スナ
 ハチ四・二倍トナルワケデアル。

五 サテ一九一三年前ノ純所得ノ増加率ヲミルニソ聯邦現在人口ノ大部
 分ヲ包含スルヨイロツバ・ロシアノ五十州ノ所得総額ハ一九一三年
 ノ物價ヲ用キルト一九〇〇年ニハ八十一億九千萬ルイブル、一九一
 三年ニハ百十三億四千萬ルイブル、三八・五%ノ増加ニ激増シタ。
 サテ現ソ聯邦ノヨイロツバ領人口ハ一八九七年ニハ八七五〇〇〇
 〇人デ、一九三〇年ニハ一三三〇〇〇〇〇人ニ増加シタ。ツマ

95

リ十三年間ニ二八・三%増加シタワケデアル。一九〇〇年ト一九一三年ノ間ノ増加率モコレマデト同一デアツタトスレバ、十三年間ニ一八當純所得額ハ八%増加シタノデアアル。
トコロデ次ノ表ヲミラレヨ。

第二表 穀物・畜産物生産高

	人 口 (百萬人)	穀物收穫高 (百萬ト)	馬 (百萬頭)	牛 (百萬頭)	細羊 (百萬頭)	豚 (百萬頭)
一八七〇年(ヨロツバ・ロシア) 一八七〇年(現ソ 聯領土)	七一・九	四〇・五	二〇・〇	二八・五	六四・五	一一・〇
一九一三年(現ソ 聯領土)	一三七・八	八〇・一	三五・八	六〇・六	一一三・〇	二〇・九
増減割合(%)	増 九二	増 九八	増 七九	増 一一三	増 七五	増 九〇

斯ル種々ノ事實カラミルト一八七〇一八九一三年ノロシアニ於ケル一人當所得額ノ増加割合ハワツカニ〇%ト推定サレル。
六一九一三年三〇年間ニ於ケル純所得額ノ増減ヲミルタニ次ノ表ヲ掲ゲル。

96

一九二八年ノ國民所得ハ時價ヲ以テ評價シテ二三七六〇百萬ルーブル

第三節 一九二八年度國民所得ノ分析

年次	農業所得額	國民所得總額	一九二一年度物價ヲ基準トスル一人當國民所得額(ルーブル)
一九一三	七・二九	一三・九〇	一〇一
一九二二	五・三七	八・〇六	六〇
一九二四	五・六七	一〇・七六	七六
一九二五	七・一五	一三・一六	九一
一九二六	七・三一	一四・〇九	九五
一九二七	七・二四	一五・一四	九〇
一九二八	七・三四	一六・六五	一〇八
一九二九	七・五二	一九・七七	一二五

第三表 一九一三年度物價ヲ基準トセル國民所得額

(單位 十億ルーブル)

97

デアツタ。ソノ中非農業所得額ハ一三五六〇百萬ループルデ國家が通
 常ノ經濟領域以外デ行ツタ特定事業ノ價額ハ二十二億ループル一十九
 三七一八年一デアアル。此ノ二ツノ合計ハ、一五七六〇百萬ループルデ
 アル。トコロデ間接税六十億ループルヲ非農業所得ニ加ヘレバ二百十
 八億ループルトナリ、前記ニミセ六〇百萬ループルト二十二億ループ
 ルトノ合計ニ五九六〇百萬ループルニ此ノ間接税ヲ加ヘレバ三百二十
 億ループルトナルワケデアアル。

次ニコノ國民所得ニ關聯シテ此ノ年ノ種々ノ數字ヲミヤウ

- (1) 農業純生産額百二億ループル、輸出額ヲ除ケバ九十九億ループル
- (2) 都市賃労働所得ノ四五%即チ三十二億ループルハ食費トシテ支出セ
 ラル。
- (3) 小賣業賣上高百五十二億ループル、食費ヲ除ケバ百二十億ループル
- (4) 時價換算ノ官公吏勞務價額二十二億ループル

尙次表參照

第四表 一九二八年度國民所得

98

食糧消費高

第四節 一九三四年ニ於ケル國民所得ノ分析

テ一人當平均純所得額ハ一九一三年度ノソレニ比シ遙カニ低下シテ
 一。即チ一九・四磅テ一九一三年度ノソレニ比シ七・五%減少シテ
 二。而シテ都市勞働者ノ實質賃銀ハ増加傾向ヲ迪ツテ來タガ、農村
 三。於ケル一人當平均所得額ハ一九一三年ニ於イテサヘ工業ノソレノ三
 五%ニスギナカッタガ、一九二七―八年ニハ二四・五%ニマデ墜落シ

支出費目	十億ル―ブル	百萬磅
食費	一〇・五	一・六八〇
家屋賃貸料	〇・五	一七〇
投資額	七・三	三〇五
ソノ他ノ商品及勞務	一四・二	七六八
計	三二・五	二・九二三

99

先ヅ以下ニ述ブル國民所得分析ノ參考トシテ次ノ四表ヲ撰ダ。

第五表 ロシア農業生産額、百萬弗。

年次	食糧	ソノ他ノ農産物
一九二七	三八一四	四二二〇
一九二八	三八五〇	四二九八
一九三二	三五一五	三九九三
一九三三	四〇六四	四六三三
一九三四	四二四五	四八一

第六表 食糧消費高

年次	食糧出超額		ソノ國內食糧消費高	
	百萬ルーブル	百萬弗	一九三〇年度ニ換算セテ	年當一人當消費高(弗)
一九二七	二九五	一五二・〇	一三〇・〇	二五・〇〇
一九二八	一〇二	五二・五	四四・五	二五・三二

246

100

第八表

一九三四年度英國小賣物價ヲ以テ再評價セリロシア人口一人當食糧消費額(年額ヲ磅ニテ表示ス)

年次	純生産額(種子・飼料等ヲ除ク) (十億ルーブル)	國內食糧消費額(輸出額ト工業用作物ヲ除ク)	人口一人當 (年當ルーブル)
一九一三	九・一三	七・二	五二・一
一九二七(一九二六・一七)	九・一六	七・九六	五四・〇
一九二八(一九二七・一八)	九・〇六	八・〇二	五三・〇
一九三二	八・四〇	七・二五	四四・二
一九三三	九・二〇	七・八五	四七・四
一九三四	九・八〇	八・五〇	五〇・五

第七表

一人當食糧消費高(ルーブル)

一九三二	七二	三七・〇	七二・〇	三四四三	二一・〇五
一九三三	八四	六〇・五	一〇九・〇	三九五三	二三・八五
一九三四	五〇	四三・五	六一・〇	四一八四	二四・九〇

101

二、國民所得總額ノ評價方法

- (1) 農業生産額 一、二〇〇百萬磅、卸賣價格、
 - (2) 一切ノ賣銀ト給料ノ平均月額 一四九・三ルーブル
 - (3) 都市労働者ノ一人當穀物年消費額約四〇〇斤、月額三三斤サテ次表ヲ編ゲテロシア労働者買収ノ購買力再評價ノ結果ヲミヨウ。
- 第九表 ロシア労働者買収ノ購買力再評價ノ結果

一人當主要食糧消費額ノ直接評價 一九三〇年米穀物價ヲ以テ計算 シタル國際聯盟ノ資料	一九一三 一〇・九〇	一九二七・八 一一・三	一九三四 八・四
政府ノ純生産額數字、一九一三年 英露小賣物價ノ比例ヲ基準トス	九・〇〇	九・二	八・七

公債應募額	月額ルーブル	英貨換算額
住宅面積一〇平方米ノ賃貸料	五七	一二志〇片

102

消費財ノ評價

(1) マツ食料購入ニツイテハ、ロシアノ支出額ヲ英國相場ニ換算スル
 ト、一ルーブルハ一・八一ペンスデアリ、英國ノ支出額ヲロシア
 相場ニ換算スルト一ルーブルハ一・四七ペンスデアル。此ノ二ツ
 ノ幾何平均ヲ求メルト、公開市場ニ於ケルルーブルノ購買力ハ僅
 カ一・六三ペンスニ過ギナイ。而シテ勞働者一人當月額ハ一九志
 一片トナリ、其ノ中デ一二志六片ハ工場食糧トシテ消費サレ、殘
 リノ六志七片ニアタリ食料ヲ公開市場テ求メルニハ一・八・五ルー

249

交通費	九	三志	〇片
工場食費	一八	一二	六
パン定量(四五妊)	四五	一一	〇
光熱費	八	四	〇
パン以外ノ食糧及工業品ノ費用	五〇	一〇	〇
計	一四二	五二	六

103

ブルヲ支出シテケレバナラナイワケデアル。
 (2) 工業製品價格ハ服。靴。鞆等ニ於テハ、一ループルハ三。四ハ
 ベンス、即チ六ループルノ購買力ハ一磅ノソレニ等シイコトト
 ナル。

(3) サテ再評價結果ヲミルトマツ賃銀平均月額一四九。三ループルニ
 労働者ガ現金ヲ受取ツタ社曾奉仕手當額ハ約三十五億ループル。
 スナハチ一人當平均月額一ニ。五ループルヲ加算シ、次ニ此ノ
 月額カラセロールブルノ公債換券額ヲ除カサケレバナラヌ。
 其ノ結果ヲミルト、労働者一人當平均支出月額ハ一五五ループル
 デアツテ、ソノ英貨換價ハ次ノ如クデアル。

第十表 労働者一人當平均支出月額

支出内訳	ループル	志換算額
家賃賃料	五・〇	一一二〇
交通費	九・〇	一〇〇〇

104

工場食費	パン代	燃料費	パン代ヲ除ク食費	工業品	計
一八〇	二一〇	八〇	四八〇	四五〇	一五五〇
二六	二二	四〇	六七〇	一三〇	七〇四
			一・〇	一・〇	三・四
			一・六	一・八	三・四
			一・〇	一・〇	二・〇
			一・〇	一・〇	二・〇

(4) 賃労働者數ハ二千四十七萬人トナリ。其ノ一人當消費額ハ一九三四年度ニ於テ一八六〇ルーブル、即チ四二・二磅デアル。消費總額ハ三百八十一億ルーブル、即チ八億六千五百萬磅デアル。工業労働者ノ家屋賃貸料總額ハ一億四千七百萬磅、即チ一八當七・二磅デアル。農業労働者ノ住宅ハ頗ル貧弱デアルカラシテ一家族當ニ磅トシテ見積ルト其ノ賃貸料總額ハ約五千萬磅トナル。

(5) 全國ノ食糧消費額ヲ英國小賣相場ヲ表スト一人當八・四磅、即チ總額一、四九五萬磅トナル。都市住民ノ消費額中約三八五萬磅

105

ハ食糧消費額デ、農民ノ食糧消費額ハ一〇百萬磅トナル。都市食糧消費額ナルイブルテ表セバ二百十六億ルイブルテアル。トコロデ、小賣業者ノ賣上高ハ五百四十二億ルイブルテアル。此ノ額カラ質銀カラ支拂ツタ公債應募額十五億ルイブルト家屋賃貸料及交通費ソノ他ノ約二十億ルイブルトヲ加算スルト總額五百七十七億ルイブルトナル。質銀總額ハ四百十六億ルイブルテ、農業勞働者ノ質銀ヲ除クト二百七十四億ルイブルテアル。此ノ数字ニ自前ノ家内工業者ノ所得額ヲ加ヘルト、都市住民ノ支出總額ハ約三百九十六億ルイブルトナリ、前掲ノ三百九十六億ルイブルヨリモ多クナツテキル。

デアルカラ農民ノ小賣品購買額ハ五百六十二億一三百八十一億乃至八百八十一億ルイブルトナル。

(2) 以上ノ購買額チ一ルイブルハ四・四八ヘンストシテ英貨ニ換算スルト二億六千三百萬磅トナル。